

報告日 令和7年10月3日  
報告回次 1回目

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	西宮市役所			代表者名	石井登志郎
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル推進課	連絡先電話番号	0798-35-3538
担当者役職	担当課長	担当者氏名	谷口 麻衣	連絡先E-mail	
住所	663-8567 兵庫県西宮市六湛寺町8番28号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的な課題への支援	事業名	ICT査定事業
概要	ICT予算の査定機能形骸化を解消するため、令和7年度に導入する新たな査定プロセスに対し、外部有識者による公正な確認とご助言をいただき、査定の客観性と妥当性を担保することで、予算の適正化を確実にするため依頼します。		
支援を求める分野	#REF!		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月30日	支援・助言（実地）	15時00分	18時00分	
				活動時間（分）	180
2-2. 派遣場所	会場名	西宮市役所 第2庁舎		最寄駅	阪神電鉄 西宮駅
	所在地	西宮市六湛寺町8番28号		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	澤 尚幸
評価	大変良い
上記評価の理由 (どのようなところがよかったです等詳細に)	単なる予算査定に留まらず、澤先生の豊富なご経験から、「そもそもこの事業に投資すべきか」という根本的な問いや、今後の事業の進め方といった、より高次の経営的視点からアドバイスをいただけたことは、極めて有益であったため
アドバイザーへの要望事項	今回いただいたような、短期的な視点だけでなく中長期的な観点も踏まえたご助言は、大変参考になりました。残りの案件におきましても、引き続き同様の視点からご指導いただけますようお願い申し上げます。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	4人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	4	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市のICT関連予算は、所管課の要求をデジタル推進部が専門的見地から確認し、財政当局が承認するプロセスとなっています。しかし、デジタル推進部に予算の査定・決定権がないため、実質的なチェック機能が働かないという構造的な課題を抱えています。これにより、オーバースペックな機器や類似システムが各課で導入されるなど、ICT投資の非効率化が進んでいます。この状況は、全庁的なデータ連携や標準化を妨げ、将来的な運用コストを増大させるリスクも内包しています。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	ICT投資の最適化を図るため、デジタル推進部による予算査定の結果を「DX推進部会」で承認し、予算策定へ確実に反映させる仕組みを令和7年度より構築します。この仕組みの運用にあたり、アドバイザーという公正な第三者の視点から査定内容への助言を受けることで、その客観性と妥当性を高めることを本支援における成果としました。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ICT関連予算の新規・更新案件について、専門的かつ客観的な第三者の視点から、個別の案件に対する具体的な助言および、市全体のDX推進における重要な示唆を以下のようにいただきました。
	<p>1. 費用対効果の算出に関する助言 高額なシステム投資に対し、市民サービスの向上といった定性的な効果に加え、人件費を含めた総コストを算出し、それに見合う定量的な効果（人件費削減効果など）を示す必要性について指摘を受けました。</p> <p>2. 全体最適と業務改革（BPR）の重要性 個別のシステム導入に留まらず、来庁不要な手続きを増やすといった根本的な業務改革（BPR）や、縦割りを越えて共通プラットフォームで業務を集約する全体最適の視点が不可欠であるとの助言がありました。</p> <p>3. 将来を見据えた持続可能性に関する助言 場当たり的なシステム改修は、高額な費用が発生し続けるベンダーロックインのリスクを増大させると指摘された。また、更新計画を無視したアプリ導入は、住民サービスを損なう危険性があるため、長期的な視点での判断が必要との助言を受けました。</p>
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル推進部の査定に対し専門的な裏付けを得るとともに、「費用対効果」「全体最適」「持続可能性」という中長期的な視点を持つことの重要性について助言をいただきました。 これにより、個別最適化された非効率な投資を防ぎ、市全体のICTガバナンスを強化するという課題解決の方向性が明確になりました。
具体的な成果物	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input checked="" type="checkbox"/>⑦その他</p> <p>デジタル推進部の査定結果に対する、アドバイザーの助言・評価コメント。 これらは、予算要求の妥当性を裏付ける客観的な根拠として、DX推進部会に提出する資料に活用します。</p>
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	協議対象の全15案件のうち、当日の支援では8案件について助言をいただきました。 残りの7案件については、次回ご助言いただく予定です。
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>今回の支援は、デジタル推進部が実施したICT予算査定の妥当性を、外部の専門家であるアドバイザーにご確認いただくことを主目的としており、また参加者が部内の管理職4名に限られていたことから、アンケート調査は行っておりません。</p>
4-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい <input checked="" type="checkbox"/>④予算以外で、今後取組む事項がある</p> <p>今年度から刷新したICT査定の仕組みについて、今回いただいた助言を基に、判定基準やプロセスをさらに明確化・最適化していきます。 これにより、客観的かつ戦略的なICT投資判断を継続的に行える体制を構築していきます。</p>
4-4. 事業の最終的な目指す姿	今年度から刷新した予算査定プロセスを常態化させ、システム導入が常に「費用対効果」「全体最適」「持続可能性」の観点から評価される仕組みを構築します。 さらに、その評価プロセスに外部有識者の助言を組み込むことで、査定の専門性と客観性を恒常に担保します。

#### 5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good\\_practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

